

守り伝えよう
「郷土の民俗芸能」



▲外国語指導助手のマリさんも飯桶町の踊り子として参加



▲七福神が勢ぞろいした八和木の田植え踊り



▲華やかな衣装で踊る外内の手踊り



▲息のあった踊りを披露した前田の手踊り



▲「ほくだっておどれるよ！次は舞台でおどりたいな」



▲細山利文飯桶文芸復興会長のあいさつ

「第15回民俗芸能大会」並びに「第5回飯桶ふるさと芸能祭」が飯館中学校体育館で開催されました。昭和50年から始まった民俗芸能大会は、伝統芸能の保存継承のために3年に1度開催しており、村内20行政区より

順番で5〜6行政区が地域の民俗芸能を披露します。また、飯桶ふるさと芸能祭は、時代の変遷と共に伝承者の高齢化、後継者不足等の事情から保存継承することが難しい状況にあることを受け、飯桶4行政区と各保存会で飯桶文芸復興会を組織し、保存継承のために開かれるもので、今回初めて合同で開催され10団体が芸能を発表しました。

芸能発表に先立ち、志賀毅村議会副議長、石原洋三郎衆議院議員、加藤貞夫福島県議会議員が来賓祝辞を述べました。

この日は、華やかな衣装に身を包んだ踊り子たちが、練習の成果を存分に発揮し、来場者は、各地区の郷土色豊かな民俗芸能の数々をたっぷりと堪能していました。

発表後は、みちのく民俗文化研究会の岩崎真幸氏が「同じ村でも地区によって浜通り、中通りに影響を受けた民俗芸能が伝わっており、興味深い」と講評を述べました。



- ①大倉の神楽
- ②草野の三匹獅子
- ③飯桶町の田植え踊り
- ④宮仲の神楽
- ⑤上飯桶の宝財踊り
- ⑥前田の手踊り
- ⑦外内の手踊り

2/14

第15回飯館村民俗芸能大会
並びに「第5回飯桶ふるさと芸能祭」

守り伝えよう
「郷土の民俗芸能」

